

観光振興計画策定の背景と目的

【観光振興計画策定の背景と目的】

八千代市は東京都心まで1時間のベッドタウンです。人口は20万人を超え人口が増加していますが、令和7（2025）年をピークとして人口減少に転じることが見込まれています。また、高齢化の急速な波は押し寄せてきており、消費が下降し、地域経済に影を落としかねない状況です。

この課題を解決するには、定住人口の減少に向けた対策も重要であるとともに、交流人口の増加により地域経済の活性化を図るため、八千代市の魅力あるまちづくりに努めるために、「八千代市観光振興基本方針」を令和3（2021）年11月19日に策定しました。

今後は、八千代市観光振興基本方針と合わせ、八千代市産業連携ビジョンによる農業・商業・工業と連携を図ることで、新たな観光資源の創出等も含め、計画的な観光振興を推進するため、「八千代市観光振興計画」を策定いたしました。

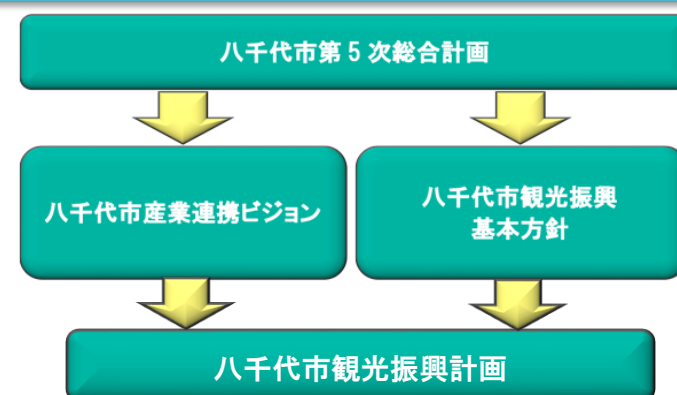
計画の位置づけ

【計画の位置づけ】

本計画は八千代市の最上位に位置する「八千代市第5次総合計画」に基づいています。

また、観光を農商工連携の架け橋とするために、「八千代市産業連携ビジョン」と並列して本計画を推進します。

これらのことで、街に交流と賑わいをもたらす観光の確立を目指します。



計画期間

【計画期間】

「八千代市第5次総合計画 前期基本計画」の計画期間に準じ、本計画は、令和4（2022）年度から令和6（2024）年度までを計画期間とします。

事業	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度
継続的事業	実施		
	検討・更新		
新規事業	検討・調査	実施	
	検討・調査		実施

八千代市の観光ビジョンと観光キャッチコピー

【観光ビジョン】

おいでよ バラの香りと桜色のまち やちよ

——花の観光都市——

都心から気軽に訪れ 自然に触れ合える 身近な観光都市を目指します。

八千代市の市の花は「バラ」です。また関東でも有数の人気を誇る「京成バラ園」もあります。市内を流れる新川沿いには、日本でも有数の早咲きの河津桜の並木をはじめとした新川千本桜があり、訪れる人を楽しませています。このバラと桜を軸に更に様々な花々を楽しんでいただくことを中心に、自然にあふれた観光の街を目指します。近い将来、「花の観光都市」としてたくさんの観光客が訪れ、満足していただける自然豊かな観光の街となることを八千代市の観光ビジョンとします。

【観光キャッチコピー】

バラ香り 千の桜が彩るまち やちよ

八千代市の観光キャッチコピーは、八千代市の花「バラ」と、桜の名所である「新川千本桜」に光を当て、この2つを中心に観光を進めていくという決意を込めています。

八千代市の観光の現状と課題について

【八千代市の観光の現状】

八千代市には、平成27(2015)年第17回世界バラ会議でも優秀庭園賞を受賞し評価を受けている「京成バラ園」や、令和3(2021)年6月に防災道の駅として選定を受けた「道の駅やちよ」周辺エリアの「新川千本桜」といった自然系観光資源、「八千代八福神」、「八千代三大祭」などの人文系観光資源をはじめとした観光資源がありますが、現状は観光分野においては黎明期であると捉えます。

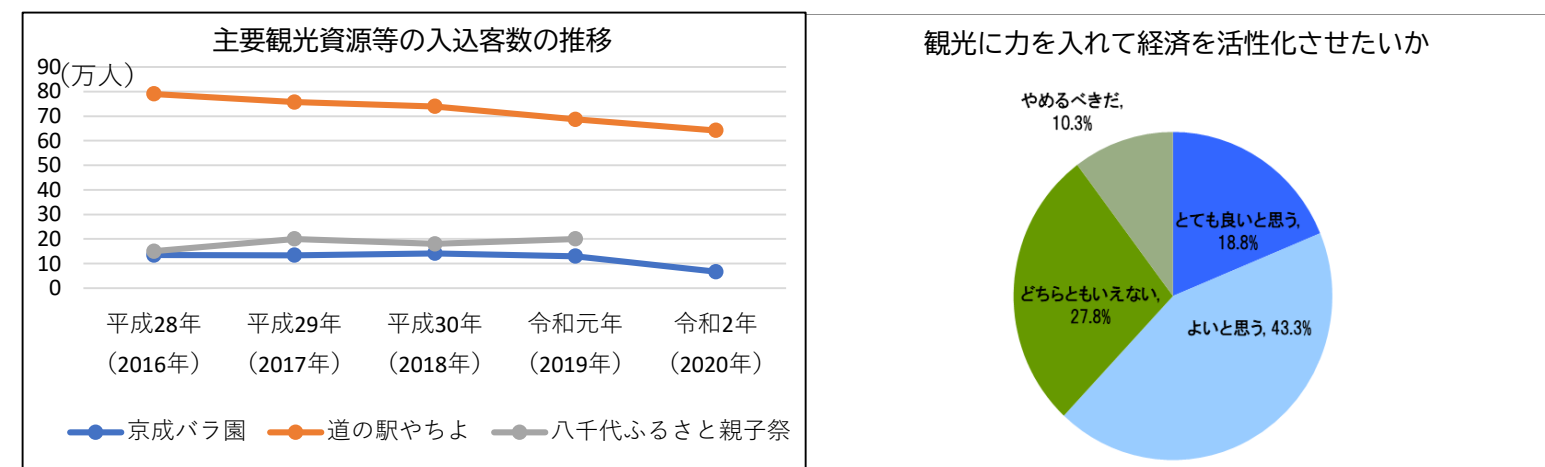
また、八千代市の観光を市民、あるいは近隣自治体の住民がどのように認識しているかの現状把握も重要となります。

これらの現状把握をもとに、課題を抽出し、その課題を解決する方針を立て、具体的な課題解決に向け取り組む必要があります。

【主要観光資源等の入込客数の推移と市民の観光への意識】

令和2（2020）年の観光入込客数はコロナ禍の影響を受けていますが、八千代ふるさと親子祭は令和元（2019）年で20万人と、それ以前の4年間においては増加傾向にあります。一方、「京成バラ園」は横ばいから微減、「道の駅やちよ」は多くの訪問客があるものの、平成28（2016）年比で18.8%減少しています。

市民の観光への意識については、将来の人口減少に備え、観光に力を入れて経済を活性化させたいという肯定的な意見が60%を超え、観光に対する期待が強いことがわかります。



【八千代市の観光の課題】

八千代市には観光を推進するうえで活用できる強みがある一方、解消しなくてはならない課題もあります。例えば、観光資源・特産品が乏しいこと、知名度が低いこと、観光のインフラが十分でないことなどです。これら課題を一つ一つ解消し、本市が持つ強みをさらに磨きあげ、外部環境のプラス面を的確に捉えれば、本市の周りの大きなマーケットからたくさんの観光客を誘客することも可能となります。このように課題を明確にし、克服することで、観光振興計画を確実に実行する必要があります。

強み（Strength）	弱み（Weakness）
・東京都心から約31kmに位置し交通網が発達 ・豊富な定住人口 ・大きなマーケットとなる周辺人口の多さ ・新川を含む自然の豊かさ	・観光資源・特産品が乏しい ・観光の街としての知名度の低さ ・観光インフラが不十分 ・市民の観光への意識が低い ・観光のPR不足
機会（Opportunity）	脅威（Threat）
・国や県の観光施策の推進 ・マイクロツーリズム(近場の観光)の台頭 ・近未来における訪日観光客の増加 ・環境に配慮した観光	・数年後からの人口減少の予測 ・高齢化の進捗 ・近隣自治体との都市間競争 ・コロナ禍における観光全体の低迷

基本方針

基本方針1「主要観光資源の交流人口の創出」

観光において重要なポイントは誘客人数で、オーバーツーリズムを招かない配慮は必要ですが、特に1人当たりの消費額が少ない日帰り観光エリアにおいては、人数は重要な視点です。地域内で最も集客力の高い観光資源に注力して、観光拠点を強化することを方針の一つとします。

基本方針2「観光資源の魅力発信の充実とブランド化」

商品をどのようにアピールし、ブランディングしていくかは観光分野のみならず、あらゆるマーケティング活動で欠かすことのできない取り組みです。特にインターネットを活用した様々なPRは、現代において不可欠なプロモーション策です。「八千代市の観光ブランド化」をどのように形作るかは大変重要と考え、基本方針の一つとします。

基本方針3「新たな観光資源の発掘」

現代においては、旧来の観光資源のカテゴリーだけでなく、あらゆるものが観光資源になりえる可能性を秘めています。観光資源調査等で確認した、本市の観光資源の磨き上げによって新たな価値を見出すことや、まだ発掘されていない観光資源を恒常的に探し続け、時代のニーズを捉えて世に出していくことで、さらに本市への観光客を増加させることにつながると考えられます。

基本方針4「自然環境を活用した観光の推進」

観光資源は人の手によって作られた「人文系資源」や、「複合資源（複数の資源が組み合わさって作られているもの）」、あるいは、その地域にある「自然系資源」に分類されます。自然系資源には、山・海・川・湖・湿地・滝などあらゆるものが含まれますが、八千代市は東京都心から約31kmにありながら、自然豊かな環境を残す地域でもあります。この豊かな自然を今後も観光に活かしていくことが、八千代市の観光の特徴を形作っていくことにつながります。

基本方針5「近隣自治体との地域間連携」

交通網が発達し、かつ周辺人口が多い都市型の観光においては、その利便性から、観光客が自治体間を縦横に移動することは容易です。都心とつながる2つの鉄道路線と国道16号、国道296号を擁する八千代市と近隣自治体の観光の連携は相互に大きなメリットがあります。現在、取り組みを進めている観光連携の小さな輪を、より大きなものに成長させていきます。

基本方針6「観光によるシビックプライドの醸成」

自分の住んでいる街が、観光という点においても誇らしく思うことができることは、大きな目標の一つでもあります。全国のあらゆる市町村でも、市民が誇れる観光を目指す取り組みは推進されています。八千代市においても未来に向けて、観光によるシビックプライドの醸成を目標の一つに掲げていきます。

基本方針の主要施策

基本方針1「主要観光資源の交流人口の創出」

主要施策
1. 「京成バラ園」の交流人口の増加策の推進
2. 「道の駅やちよ」周辺エリアの交流人口の増加策の推進

基本方針2「観光資源の魅力発信の充実とブランド化」

主要施策
1. 八千代市の観光ブランドイメージの醸成
2. 「ココシルやちよ」の市民への認知度の推進
3. 近隣自治体の方々への様々なプロモーションの推進
4. 観光客のリピーター化への具体的な手法の構築
5. 観光推進を図る（一社）八千代市観光協会との更なる協力・連携の強化

基本方針3「新たな観光資源の発掘」

主要施策
1. 既存の観光資源の高付加価値化やブラッシュアップ
2. オンリーワン・N01等誘客に結び付くキーワードを伴う観光資源の発掘



基本方針4「自然環境を活用した観光の推進」

主要施策
1. グリーンツーリズムコンテンツの推進
2. 自然を活用した多種多様なアクティビティへの取り組みの推進
3. 「SDGs」の取り組みを意識した観光政策の推進



基本方針5「近隣自治体との地域間連携」

主要施策
1. 季節や親和性に富む近隣自治体の観光資源とのコラボレーション
2. バラを軸とした観光振興への推進
3. 印旛沼流域自治体との観光振興の推進



基本方針6「観光によるシビックプライドの醸成」

主要施策
1. 三大祭を中心とした市民参加の観光の推進
2. 八千代市民の主要観光資源へのリピーター化
3. 子どもたちに対する八千代市観光への関心の醸成

計画進捗の目標管理

「京成バラ園」の観光入込客数	
現況値：2019年度	目標値：2024年度
129,189人	150,000人

【特に関連のある施策】

- ・「京成バラ園」の交流人口の増加策の推進
- ・近隣自治体の方々への様々なプロモーションの推進
- ・バラを軸とした観光振興への推進
- ・八千代市民の主要観光資源へのリピーター化

八千代市観光推進室HP （主要観光資源情報ページ）のアクセス数	
現況値：2020年度	目標値：2024年度
63,746件	70,120件

【特に関連のある施策】

- ・八千代市の観光ブランドイメージの醸成
- ・近隣自治体の方々への様々なプロモーションの推進

「ココシルやちよ」のアクセス数	
現況値：2020年度	目標値：2024年度
69,541件	76,495件

【特に関連のある施策】

- ・「ココシルやちよ」の市民への認知度の推進
- ・近隣自治体の方々への様々なプロモーションの推進

八千代市観光推進室YouTubeの再生回数	
現況値：2020年度	目標値：2024年度
5,010回	5,511回

【特に関連のある施策】

- ・八千代市の観光ブランドイメージの醸成
- ・既存の観光資源の高付加価値化やブラッシュアップ

八千代市観光協会HPのアクセス数	
現況値：2020年度	目標値：2024年度
27,681件	30,450件

【特に関連のある施策】

- ・観光推進を図る（一社）八千代市観光協会との更なる協力・連携の強化
- ・近隣自治体の方々への様々なプロモーションの推進

